

# まちのくすりやさん 第22号

## 今回のおはなし

- 「咳ぜんそく」にご用心
- ザ・タバコ
- Q&A



# 「咳ぜんそく」にご用心

風邪の症状は治まったのに、ゴホゴホとしつこい咳がいつまでも抜けない時は、「咳ぜんそく」の疑いがあります。引き金になりやすいのは、季節の変わり目による気温の変化や花粉など。風邪がきっかけの人も多いそうです。ただ、体質の変化が原因になっているという点は共通しています。

**咳ぜんそくの見分け方や症状** ※3個以上該当するなら、咳ぜんそくの疑いもあります。

- 横になって寝る時や、夜半から明け方にかけて、ひどく咳き込む。
- 電話で話したり長くしゃべったりしていると、のどが渇いたり咳き込んだりする。
- 寒暖の差があったり、混んだ電車内だったりすると咳き込む。
- たばこの煙はどちらかという嫌い(または気になる。)
- 香水や化学物質の強い臭いは、どちらかかという嫌い。(または気になる。)

### 同じようで異なる、咳ぜんそくとぜんそく

	類似点	異なる点
症状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発作時に激しい咳が出る。</li> <li>・夜中から明け方にかけて激しい咳が出る。</li> <li>・種々のアレルゲン、寒暖の差、タバコの煙などが誘因に</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゼイゼイ、ヒューヒューという「ぜん鳴」はない。</li> <li>・呼吸困難は少ない。</li> <li>・たんはあまり絡まない</li> </ul>
治療や経過	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市販の咳止め薬では治らない。</li> <li>・気管支拡張薬、吸入ステロイド薬で症状が良くなる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1～2ヶ月の薬物治療で症状は改善、またはなくなる。</li> </ul>

※咳が起こるしくみは、温度や気流の変化などで気道の粘膜が何らかの刺激を受けるなど、炎症細胞が活性化し特殊なタンパク質などを放出、肺の末梢の神経を刺激し、それが脳の中樞神経を興奮させ、咳の連続となって表れます。咳ぜんそくも一般のぜんそくも気道の炎症によるものです。

《治療》気管支拡張薬に加えて、好酸球の活性化を抑える抗アレルギー剤、または吸入ステロイド薬などを併せて服用したり、麦門冬湯や麻杏甘石湯や五虎湯なども併用したりします。

《かかったら注意すること》①アレルギー症状を引き起こすものは避ける。②タバコはご法度。

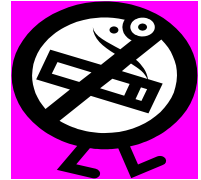
③飲酒は控える。④マスクを使用。⑤できるだけストレスを避ける。

我慢せず、アレルギー専門医や呼吸器内科医に受診してみてください。

# ガ・タバコ

## 外国（タイ）のタバコの紹介

（日本のマイルドセブンがタイ国では下記のような写真付きで販売されています。）



## 浦安市薬剤師会HP開設しました！

（社）浦安市薬剤師会では、ホームページが完成し、下記のURLアドレスにて公開致しました。

当会のホームページは、地域のみなさまのお役に立てる情報を掲載しております。

ぜひ、ご利用下さい。

HPアドレス <http://www.urayaku.jp/>



ご意見、ご質問、ご感想など、お気軽にお寄せ下さい。

（社）浦安市薬剤師会 〒279-0004 浦安市猫実1-2-5 健康センター内

Tel 047-355-6812（月～金：10～15時）

Fax 047-355-6810

メールアドレス [yakuura@violin.ocn.ne.jp](mailto:yakuura@violin.ocn.ne.jp)